

公教育オンライン対応開始の10年後を語る ー教育学の知見をふまえてー

～第9回年次大会(京都大会)プレ企画～

5月16日

13:00-16:00

オンライン開催



コロナウィルスの感染拡大により学校は休校を余儀なくされ、学校機能の一部をオンラインでも実現する動きが加速しています。昨年末に発表された GIGA スクール構想も踏まえると、1人1台の PC 環境と公教育の一部オンライン対応による大きな変化が、近未来に起こる可能性が出てきました。

では10年後、どんな教育がなされていけば、教育がよくなったと思えるのでしょうか？

GIGA スクール構想とコロナウィルス感染収束の次に来るべき教育について、批判的・発展的に思考しましょう！

講演

石井 英真（京都大学大学院教育学研究科 准教授）

教育学から公教育オンライン対応を考える

教育学から AI の可能性を考える

ディスカッション

コーディネーター 久富 望（本学会事務局長）

参加者と石井准教授に加え AI にも議論に

加わってもらいます

参加申し込み

QR コードから申込フォームにアクセスいただきお申し込みください。

オンラインでの参加方法（マイク・カメラは不要）は、5/8 金曜から、参加者へ順次メールでご連絡いたします。また、開催日が近くなったら、再度ご連絡いたします。



お問い合わせ

seminar20200516 [at* js-dt.jp (担当：広瀬、[at* を @ に変更ください)

主催 日本デジタル教科書学会

後援 京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

京都大学学術情報メディアセンター 緒方研究室 (Learning and Educational Technologies Research Unit)